家畜共済重要事項説明書

この重要事項説明書は、家畜共済へのご加入にあたり、あらかじめご承知いただきたい重要な事項をまとめたものです。必ずお読みいただき、内容をご確認・ご了承のうえ、お申し込みいただきますようお願いいたします。ここに記載した重要事項のほか、ご契約に関する事項は「ホームページの定款や事業規程等」に掲載していますのでご確認ください。

なお、ご不明な点等がございましたら、恐れ入りますが下部に記載しております問合先までご連絡ください。

令和4年4月

目 次

No.	記 載 内 容	ページ
1	加入資格者	P. 3
2	加入申込みによる共済関係（契約）の成立	P. 3
3	引受審査	P. 3
4	補償対象家畜	P. 4
5	共済金の支払対象となる事故	P. 5
6	共済事故の一部事故除外（事故除外選択）	P. 6
7	共済金の支払額	P. 8
8	共済金が支払えない場合等	P. 9
9	待期間	P. 10
10	共済責任の開始及び共済責任期間（補償期間）	P. 11
11	共済掛金率	P. 11
12	共済価額	P. 11
13	共済金額（補償額）	P. 11
14	共済掛金	P. 12
15	共済掛金の納入方法	P. 12
16	共済掛金の納入期限の取扱い	P. 12
17	組合への通知義務	P. 13
18	期末調整 ※死亡廃用共済のみ	P. 13
19	共済関係の解除	P. 13
20	損害防止の義務	P. 14

1 加入資格者

加入できる方は、養畜の業務を営む方（自己の責任と計算において、営利を目的として反復継続して家畜を管理する方）であり、例えば単なる雇用人や一時的に他人の家畜を預かっている方、試験研究機関及び学校等公的機関は加入できません。また、家畜個体識別一括情報照会システム（以下、「牛トレサ情報」という）の利用に協力を得られない場合は加入できません。

肉豚については養畜の業務を営んでいる方ですが、農家単位引受方式への加入者は次の要件も全て満たす方となります。

- (1) 畜舎への立入調査により、母豚の頭数、畜舎の構造及び敷地面積、その他肉豚の飼養頭数の確認のための必要な事項が把握できること。
- (2) 過去3年間において、母豚の繁殖成績及び当該母豚から出生した豚の離乳の日に至るまでの死亡率を記録しており、かつ、今後も当該繁殖成績及び死亡率を記録することが確実であると見込まれること。
- (3) 過去3年間において、飼養する母豚から出生した豚がその方の出荷する肉豚のおおむね全頭を占めており、かつ、今後も飼養する母豚から出生した豚が、出荷する肉豚のおおむね全頭を占めることが確実であると見込まれること。
- (4) 過去3年間において、肉豚の頭数に関する資料の提供につき協力が得られる卸売市場等に出荷しており、今後も当該卸売市場等に出荷することが確実であると見込まれること。

2 加入申込みによる共済関係（契約）の成立

- (1) 家畜共済の契約は、加入される方が、別に定めている家畜共済加入申込書に必要な事項を記入のうえ、組合に申込みいただき、組合がその申込みを承諾したときに成立します。
- (2) 加入の仕方は、死亡廃用共済（家畜が死亡したとき及び廃用となった場合の補償）と疾病傷害共済（家畜が病気等に罹りその治療に要した経費の補償）があり、両方加入することもできますし、どちらか一方に加入することもできます。
- (3) 家畜共済に加入する組合員は、共済責任の開始前に、共済掛金期間中に飼養する見込みの包括共済区分※のすべての家畜について品種別・用途別に、期首もしくは導入予定時点の月齢別の頭数を申告していただきます。

※ 包括共済家畜区分・・・家畜共済では、制度の安定した運用と被害率抑制を目的に、農家単位で、乳牛、肉用牛などの種類等ごとに全頭加入いただいています。この種類等ごとの区分を『包括共済家畜区分』といいます。

3 引受審査

家畜の種類ごとに飼養する全ての家畜を申し込んでください。

なお、次に該当するものがあって、その危険の程度からみて、他の組合員との間に衡平を欠くおそれがある場合は加入することができません。また、個別共済関係にあつては、次のいずれかに該当する場合は加入することができません。

- (1) 疾病にかかり、若しくは傷害を受けているもの、又はその原因が生じているもの

- (2) 12歳を超える牛、明け17歳以上の馬又は6歳を超える種豚
- (3) 発育不全、衰弱、奇形、不具又は悪癖の著しいもの
- (4) 通常の飼養管理又は供用の方法と著しく異なる方法で飼養管理され、若しくは供用され、又はそのおそれがあるもの

4 補償対象家畜

補償対象家畜は、牛・馬・豚の3畜種です。各畜種とも加入に際しては年齢制限（加入資格）を設けており、牛の胎児・子牛については、加入者の申し出により補償の対象とすることができます。

また、加入者の方が飼養している家畜で、加入資格のあるものは、包括共済家畜区分ごとにまとめて全頭加入していただきます。

【包括共済関係】

対象家畜		包括共済家畜区分	
		死亡廃用共済	疾病傷害共済
牛	満24月齢以上の乳牛の雌であって搾乳の用に供されるもの	搾乳牛	乳用牛
	満24月齢未満の乳牛の雌	育成乳牛	
	牛の胎児のうち乳牛であるもの		
	満24月齢以上の肉用牛の雌であって繁殖の用に供されるもの	繁殖用雌牛	肉用牛
	搾乳牛、繁殖用雌牛、育成乳牛及び種雄牛以外の牛	育成・肥育牛	
	牛の胎児のうち乳牛でないもの		
馬	満36月齢以上の馬の雌であって繁殖の用に供されるもの	繁殖用雌馬	一般馬
	繁殖用雌馬及び種雄馬以外の馬	育成・肥育馬	
豚	繁殖用の豚で、出生後5月の末日を経過したもの	種豚	種豚
	肥育を目的とする豚で、加入資格日齢は出生後第20日の日または離乳の日のいずれか遅い日から第8月の末日までのもの。 ※特定肉豚の場合には上限はありません。	肉豚	

注1 死亡廃用共済、疾病傷害共済はそれぞれ、包括共済の家畜区分ごとに付保割合（補償割合）〔死亡廃用共済〕、選択割合〔疾病傷害共済〕を選択し加入することができます。

注2 子牛等の補償を選択した場合、死亡廃用共済では棚卸資産的家畜（育成乳牛、育成・肥育牛及び育成・肥育馬）に子牛・胎児が、疾病傷害共済では子牛が補償の対象に含まれます。

注3 加入を選択した包括共済区分に含まれる家畜は、全て加入いただきます。一部

加入はできません。

【個別共済関係】

家畜改良増殖法の規定による種畜証明書の交付を受けている牛及び馬であって、家畜1頭ごとに加入します。区分は、「乳用種雄牛」、「肉用種雄牛」、「種雄馬」の3区分があります。

5 共済金の支払対象となる事故

家畜共済における共済事故は、牛、馬及び種豚は、死亡、廃用、疾病及び傷害、牛の胎児及び肉豚は死亡だけとなっています。

共済事故発生時に加入者が行わなければならない事項として、死亡、廃用、疾病及び傷害が発生した時は、すぐにその内容を組合に通知するとともに、獣医師の診療(検案)を求める必要があります。

なお、種豚及び肉豚が一般事故で死亡した場合、組合員が死亡豚の画像を組合に送信し通知することで検案を省略できることの選択ができます。詳細は組合にお問い合わせ願います。

<死亡廃用共済>

対象家畜の種類	共済事故	説明	
すべての家畜	死亡事故	死亡(と殺を除く)。 家畜伝染病予防法に基づく法令殺	
牛(胎児を除く)、 馬、種豚	廃用 事故	1号	疾病または不慮の傷害によって死にひんしたとき
		2号	不慮の災厄によって救うことのできない状態に陥ったとき
		3号	骨折、は行若しくは両眼失明または牛伝染性リンパ腫、BSE その他農林水産大臣が指定する疾病若しくは不慮の傷害であって、治癒の見込みのないものによって使用価値を失ったとき
		4号	盗難その他の理由によって行方不明となった場合であって、その事実が明らかになった日の翌日から30日を下回らない範囲内において、事業規程等で定める期間以上生死が明らかでないとき
		5号	搾乳牛・育成乳牛、種雄牛又は種雄馬が治癒の見込みのない生殖器の機能の喪失または伝染性疾患であって、当該家畜に係る共済責任の始まった時以後に生じたことが明らかなものによって繁殖能力を失ったとき
		6号	搾乳牛・育成乳牛が治癒の見込みのない泌乳器の疾病または傷害であって、当該家畜に係る共済責任の始まった時以後に生じたことが明らかなものによって泌乳能力を失ったとき
		7号	牛が出生時において奇形又は不具であることにより、将来の使用価値がないことが明らかなとき

注1 死亡事故について、家畜伝染病予防法の規定により家畜の評価額の全額が手当

金、特別手当金又は補償金として交付され、これらを原因とする死亡は共済事故から除外されますが、それは牛疫、牛肺疫、口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱の患畜としてと殺されたことによる死亡及び牛疫、口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱の疑似患畜としてと殺されたことによる死亡並びに家畜伝染病予防法第 17 条の 2 第 1 項に規定する指定家畜（口蹄疫の患畜及び疑似患畜以外であっても殺す必要がある家畜）が殺処分されたことによる死亡です。

注 2 3号廃用について、BSE または牛伝染リンパ腫は、と畜場で診断され全廃棄となった場合（家畜商等に譲渡した後にと畜場で診断され全廃棄されたことで、組合員等が売渡価格の一部または全部を家畜商等に返還または賠償した場合を含む）も、共済金の支払対象となります。

注 3 7号廃用の対象家畜は、「育成乳牛」、「育成・肥育牛」となります。

<疾病傷害共済>

対象家畜の種類	共済事故	説明
牛（胎児を除く）、馬、種豚	病傷事故	疾病及び傷害 ※共済金の支払対象となる病気やけがなどにより、獣医師の診療を受けた場合です。

6 共済事故の一部事故除外（事故除外選択）

共済事故の選択とは、共済事故の一部を除外して加入する方法です。このことにより、掛金の負担を軽減することができますが、補償されない事故のリスクを加入者自ら負うこととなりますので注意願います。

共済事故の一部事故除外については、死亡廃用共済のみが対象であり、疾病傷害共済では事故除外の加入方式はありません。

また、共済事故を選択（事故除外）できる方は、包括共済関係（肉豚にあっては、農家単位引受方式）で加入し、下表の条件を満たす方です。

【事故除外方式の申出基準】

包括共済対象家畜	基準
搾乳牛、育成乳牛	ア 当該共済掛金期間の開始の時に於いて、現に飼養する搾乳牛または育成乳牛の頭数が6頭以上であること。 イ 搾乳牛または育成乳牛につき、当該共済掛金期間の開始前5年間にわたり引き続き養畜の業務を営んだ経験を有すること。
繁殖用雌牛、育成・肥育牛、繁殖用雌馬、育成・肥育馬、種豚	当該包括共済家畜区分に係る家畜につき、当該共済掛金期間の開始前5年間にわたり引き続き養畜の業務を営んだ経験を有すること。

【死亡廃用共済における事故除外区分】

事故除外種類	対象家畜の種類	共済金支払対象とする事故		共済金支払いから除外する事故
1号のイ除外	搾乳牛、育成乳牛	火災、伝染病の疾病※1及び自然災害による死亡・廃用事故		通常の死亡・廃用事故
1号のロ除外	搾乳牛、育成乳牛	<ul style="list-style-type: none"> ・通常の死亡事故 ・火災、伝染病の疾病※1及び自然災害による死亡・廃用事故 		通常の廃用事故
1号のハ除外	搾乳牛、育成乳牛	死亡事故	1号・2号・3号・4号・7号の廃用	5号、6号の廃用事故
2号のイ除外	繁殖用雌牛、育成・肥育牛	火災、伝染病の疾病※1及び自然災害による死亡・廃用事故		通常の死亡・廃用事故
2号のロ除外	繁殖用雌牛、育成・肥育牛	<ul style="list-style-type: none"> ・通常の死亡事故 ・火災、伝染病の疾病※1及び自然災害による死亡・廃用事故 		通常の廃用事故
2号のハ除外	繁殖用雌牛、育成・肥育牛	死亡事故	4号・7号廃用	1号、2号、3号廃用事故
3号除外	繁殖用雌馬、育成・肥育馬	火災、伝染病の疾病※1及び自然災害による死亡・廃用事故		通常の死亡・廃用事故
4号のイ除外	種豚	火災、伝染病の疾病※1及び自然災害による死亡・廃用事故		通常の死亡・廃用事故
4号のロ除外	種豚	死亡事故	4号・7号廃用	1号、2号、3号廃用事故
5号除外	特定肉豚	火災・伝染性の疾病※1※2、自然災害による死亡事故	/	通常の死亡事故

※1 家畜伝染病予防法第2条第1項に規定する家畜伝染病及び同法第4条第1項に規定する届出伝染病に限る。

※2 家畜伝染病にあつては患畜又は疑似患畜（と殺又は殺処分されたものにあつては家畜伝染病予防法第17条又は第20条の規定によるものに限る）、届出伝染病にあつては真症のもの。

7 共済金の支払額

<死亡廃用共済>

次の①、②の算出値のうち、いずれか小さい額を共済金としてお支払いします。

$$\text{①} = (\text{事故家畜の評価額} - \text{肉皮等残存物価額} - \text{補償金}) \times \text{付保割合}$$

$$\text{②} = \text{事故家畜の評価額} - \text{肉皮等残存物価額} - \text{補償金} - \text{手当金}$$

※ ①の場合の残存物価額は、事故家畜の評価額の2分の1を限度とします。

※ 火災、伝染病及び自然災害を除いた通常の事故については、死廃共済金支払限度額の範囲内で共済金が支払われます。

※ ①、②の事故家畜の評価額とも、固定資産的家畜（搾乳牛、繁殖用雌牛、繁殖用雌馬及び種豚）については、期首または導入時点の月齢の価額を用い、棚卸資産的家畜（育成乳牛、育成・肥育牛及び育成・肥育馬）については、事故時点の月齢の価額を用います。

	固定資産的家畜	棚卸資産的家畜
引受時評価	期首・導入時点の月齢の評価	期末時点の月齢の評価
事故時評価	期首・導入時点の月齢の評価	事故時点の月齢の評価

※ 廃用の場合、肉皮等残存物価額は、廃用家畜の取引価格となります。廃用家畜の取引価格は、次により計算されます。

$$\text{廃用家畜の取引価格} = \text{廃用家畜の売渡価格} - \text{売渡先への返還金}$$

注1 特定事故（火災、伝染病（家畜伝染病予防法に定める家畜伝染病及び届出伝染病）風水害等の自然災害）を除いた一般的な事故については、加入者単位に設定された死廃事故支払共済金限度額の範囲内で共済金が支払われます。

注2 共済金の請求には診断書（検案書）の提出が必要となります。さらに、廃用事故の場合は、業者の買受書、又は家畜販売代金精算書等の事故家畜の販売価額を明らかにする書類を組合に提出してください。廃用家畜は、枝肉（皮、内臓を含む）で販売することを原則とします。廃用家畜を枝肉（皮、内臓を含む）として販売（家畜商等に委託した場合を含む）する場合にあっては、当該廃用家畜のと畜、枝肉処理等を行った施設が発行した当該廃用家畜の枝肉重量、価額及び処理経費が記載された書類を組合に提出してください。

注3 盗難及び行方不明等の場合には盗難被害届、または遺失物届の証明書もしくは届出書の写しを提出してください。

<疾病傷害共済>

病傷事故に係る治療費は、病傷給付点数の範囲内であれば何回受診しても共済金として支払われます。ただし、病傷給付基準及び限度点数の範囲を超えた診療費並びに初診料は、加入者の負担となります。

共済金を請求するときは、診断書を組合に提出してください。ただし、指定獣医師の診療を受けた場合で、その診療に係る共済金の受領を指定獣医師に委任するときは、家畜共済病傷事故共済金代理受領委任状を組合に提出してください。なお、組合獣医師及び組合嘱託獣医師の診療を受けた場合は、限度点数以内は給付対象の診療が共済金の支払いとなりますので共済金の請求は必要ありません。

令和2年1月1日以後に責任を開始するものからは初診点数が共済金の支払対象

になり、初診点数を含む診療費の総額のうち1割が加入者の自己負担になります。
(共済金から除外される分を除く)

家畜共済診療点数表等で定められた初診点数は1,300円です。診療を受けた獣医師が定めている初診料との差額は、直接お支払い願います。

8 共済金が支払えない場合等

共済責任期間中に発生した共済事故による損害であっても、次のような場合には共済金の全部または一部をお支払いできないことがありますのでご留意願います。

- (1) 通常すべき管理その他損害防止の義務を怠った場合
 - ・牛トレーサビリティ法に基づく家畜改良センターへの届出等及び飼養家畜の個体管理を行っていないために個体情報の確認が困難な場合も含まれます。
- (2) 損害防止の処置に従わなかった場合
- (3) 損害発生通知など通知義務を怠った場合
 - ・提出を遅延した場合、その日数により組合の理事会で定めた免責割合が適用されます。
- (4) 損害発生通知が遅延したことにより対象物が損なわれ、共済事故、死亡年月日、飼養状況(損害防止の適否)等が現地で確認できない場合
- (5) 共済掛金の払込みを遅延した場合
 - ・掛金の分納を行った場合に、第2回目以降の共済掛金の払込みを遅滞し、2週間の猶予期間を経過したときは、払込期限後共済掛金が払込まれるまでの間に発生した事故は全額免責となります。
- (6) 告知義務違反
 - 包括共済関係の申込みの際、次の事実又は事項につき、悪意または重大な過失によってこれを通知せず、または不実の通知をしたとき
 - ・疾病に罹り若しくは傷害を受けているものがあること、または疾病若しくは傷害の原因が生じているものがあること
- (7) 死亡廃用共済に付された家畜であって、廃用に係るものを組合の承諾を得ずにと殺し、または譲り渡した場合(緊急にと殺し、または譲り渡す必要があったこと、及び牛伝染性リンパ腫またはBSEに罹っていることを知らずにと殺し、または譲り渡したことにつき、重大な過失がないことを除く)
- (8) 加入の際に病傷の状態にあった家畜、またはその原因が生じていた病傷によって損害が生じたときは全額免責になります。
- (9) 戦争、その他の変乱によって生じた損害
- (10) 加入者の悪意又は重大な過失によって不実の通知をしたときは、全額免責となります。
- (11) 牛伝染性リンパ腫による死廃事故について、牛伝染性リンパ腫感染拡大防止措置※を実施していないときは、4割免責となります。
また、と場において、牛伝染性リンパ腫と診断され全部廃棄となったことがわかる書類を受け取った後、3日を超えて組合に事故の発生通知をしなかったときは、1割免責となります。

※牛伝染性リンパ腫感染拡大防止措置

- 1) 同一の注射針を複数の牛に使用しないこと

- 2) 直腸検査及び人工授精時に使用する直検手袋を1頭ごとに必ず交換すること
- 3) 妊娠鑑定時に用いるエコープローブをカバーで被覆して1頭ごとに交換すること
- 4) 除角器具、去勢用具、削蹄器具、耳標・鼻環の装着器具等の血液が付着する物品は、洗浄、消毒して使用すること。なお、洗浄と消毒に使用する容器は別容器とすること

(11) 家畜共済の共済金の支払いに不足を生じる場合には、家畜共済に係る不足金填補準備金並びに特別積立金の合計額をその支払いに充ててもなお不足を生ずる場合に限り、共済金額を削減して支払われる場合があります。

9 待期間

新規に共済掛金期間が開始した日から2週間（この期間を待期間と言います）以内に事故があっても、事故の原因が共済掛金期間の開始後であることが明確でない場合は、補償を受けることができません（導入された家畜については、導入の日の翌日から2週間が待期間となります）。

なお、共済加入者間で取引された家畜（取引前2週間以上前に加入している個体で、当該他の組合員等の飼養する家畜でなくなった後1週間以内に当該組合員の共済関係に付された個体）は、事故の原因が共済掛金期間の開始後であることが明確でない場合の事故でも、共済金を請求することができます。

この場合においては、導入前の飼養者が指定の様式（申出書）により加入情報を組合に提出していることが前提となります。導入前の飼養者に該当したときのため、情報の開示を承諾いただきますようお願いいたします。

ただし、共済加入者間での取引であったとしても、事故が導入前に発生していた場合（持込事故）には、補償を受けることはできません。

◇ 待期間中の事故であっても共済金請求ができる場合

家畜の導入など共済掛金開始日から2週間以内（待期間）に発生した死産事故及び病傷事故は、原則として共済金が請求できませんが、事故原因が加入後であることが明らかなケースは、共済金が請求できる場合がありますので、家畜の導入及び事故の発生がありましたら速やかに組合へご連絡ください。

【請求可能な事故の例】

分類	事故	事故原因
外傷	切創、挫創、骨折、脱臼、焼死、圧死、溺死など	受傷、滑走、転倒、火災、自然災害など
突発的に発症する病気	中毒など	有害な飼料の摂取など
分娩に起因する病気	乳熱、子宮脱、新生子の生後の感染症など	分娩、新生子の生後感染
その他	事故原因が加入後にある母牛の死亡または廃用に伴う胎子死	母牛の死亡または廃用

【請求方法】

- ① 事故原因の発生した時点が明記された診断書（検案書）
※ 共済団体の家畜診療所、嘱託・指定獣医師の診療を受けている場合、提出は不要です。
- ② 事故原因の特定を目的に検査した場合は、検査結果を証明したもの
※ 検査を外部へ依頼した場合は、検査機関等が証明したもの
- ③ 火災による事故の場合は、罹災証明書
- ④ 「母牛の死亡又は廃用に伴う胎子死」の場合は、授精（種付・移植）証明書

なお、事故発生通知や飼養管理を怠った場合、重大な過失があった場合などは、共済金を支払いできない場合があります。

10 共済責任の開始及び共済責任期間（補償期間）

事故が発生したときの補償（以下「共済責任」といいます）は、加入される方が掛金を組合に納めた日の翌日から開始します。共済責任期間は原則として1年間となり、既に共済関係が成立している契約の始期または終期に共済掛金期間を統一する場合に限り、短期引受ができます。

11 共済掛金率

農林水産大臣が過去一定年間（原則3年間）の被害率（被害の程度）を基礎として、3年ごとに共済掛金標準率を定め、これを基に事故発生率（損害率）の多寡に応じた21段階の危険段階掛別共済掛金率を設定します。

組合員に適用される掛金率は、過去10か年の事故発生率（損害率）を基礎に、該当する危険段階区分の掛金率を適用します（毎年度、適用する掛金率を見直します）。

農林水産大臣から告示される共済掛金標準率を中間値とし、事故発生率が低い組合員ほど掛金率は低く設定され、事故発生率が高い組合員ほど掛金率が高く設定される仕組みとなっています。

12 共済価額

家畜の価額を合計した額を共済価額といいます。家畜の価額は、家畜市場又は食肉市場から得られる平均取引価格等を踏まえ、包括共済家畜区分、品種ごと、月齢ごとの評価額の基準（評価基準）を設定し、評価額を決定します。

13 共済金額（補償額）

<死亡廃用共済>

共済金額（補償額） = 共済価額 × 付保割合（補償割合）※

※ 付保割合（補償割合）は共済価額に対し、2割から8割（肉豚は4割から8割）までの間で加入者が選択できますが、補償の充実の観点から8割の選択をお薦めしています。

<疾病傷害共済>

共済金額 = 病傷共済金支払限度額※を超えない範囲内において加入者が申出た金額

※ 病傷共済金支払限度額 = 共済掛金期間の開始時における家畜の価額の合計※1 × 病傷共済金支払限度率※2 × 短期係数

※1 共済掛金期間の開始時における家畜の価額の合計は、農林水産大臣が定める1頭当たりの価額(50万円) × 頭数が限度となります。

※2 病傷共済金支払限度率は、農林水産大臣が定めます。

14 共済掛金

<死亡廃用共済>

共済掛金 = 共済金額 × 危険段階別共済掛金率 × 短期係数

国庫負担共済掛金 = 共済金額 × 基準共済掛金率 × 短期係数
× 国庫負担割合

農家負担共済掛金 = 共済掛金 - 国庫負担額※

<疾病傷害共済>

共済掛金 = 共済金額 × 危険段階別共済掛金率

国庫負担共済掛金 = 共済金額 × 基準共済掛金率 × 国庫負担割合

農家負担共済掛金 = 共済掛金 - 国庫負担額※

※ 国庫負担額を定める国庫負担割合は、国庫負担限度額までは牛及び馬は50%、豚は40%です。

※ 農家負担掛金の他に加入いただく家畜の種類ごと、規模ごとに応じた事務費賦課金をご負担頂きます。

15 共済掛金の納入方法

共済掛金期間開始の時に全額お支払いいただく一括納入と2回又は4回に分けてお支払いいただく分割納入があります。

分割納入は、包括共済家畜区分ごとに農家負担掛金が5万円以上の場合に限ります。分割納入する場合には保証人または担保が必要となりますので、加入時に申し出いただくとともに、組合が提示する分割納入申請書兼確約書を提出いただくこととなります。

16 共済掛金の納入期限の取扱い

共済掛金の納入期限(分割納入は第1回目の納入期限)は、共済掛金期間開始の前日となります。(第2回目以降は第1回目の共済掛金の納入期限の日の翌日から起算して、当該共済掛金期間の月数を2回又は4回で除して得た月数を経過するごとの日までとなります。)

ただし、継続加入の場合、納入期限は2週間猶予されます。

17 組合への通知義務

次の場合、加入者から組合への通知が義務づけられています。この通知義務を怠ったり遅れたりすると、共済金の全部または一部が支払われないことや、既に支払った共済金の一部を返還していただく場合がありますので、ご留意願います。

<共通>

- (1) 家畜に去勢、その他大きな手術をするとき。
- (2) 放牧や共進会に出陳するとき。
- (3) 家畜に管理人を定めるときや飼養場所を変えるとき。

<死亡廃用共済>

- (1) 次の異動が生じたとき。
 - ア 農場の譲受、畜舎の増築等、養畜業務の規模の著しい変更に伴う共済目的たる家畜の譲受け。
 - イ 共済事故の発生による飼養頭数の減少を補うことを目的とする共済目的たる家畜の譲受け。
 - ウ 養畜業務の規模の著しい変更に伴い、共済目的たる家畜を飼養しないこととなったこと。
- (2) 家畜が死亡または廃用になったとき。
- (3) 母牛が死亡廃用共済に加入していない又は事故除外している場合であっても、胎児が死亡廃用共済に加入している場合は、母牛が死亡あるいは廃用の条件を満たす状態となったとき。
- (4) 家畜が行方不明になったとき。
- (5) と畜場において、BSE または牛伝染性リンパ腫と診断されたとき。

<疾病傷害共済>

- (1) 次の異動が生じた場合であって、共済金額の変更を希望するときは、異動日から2週間以内に組合に申し出てください。
 - ア 共済目的たる家畜を飼養することとなったこと。
 - イ 養畜業務の規模の著しい変更に伴い、共済目的たる家畜を飼養しないこととなったこと。

18 期末調整 ※死亡廃用共済のみ

加入者は共済掛金期間終了後（期末）、速やかに牛トレサ情報、飼養状況等（共済掛金期間中に導入、出荷等の牛等の異動を把握）を整理し、組合に連絡してください。整理後、提出いただいた牛トレサ情報、飼養状況に基づき、組合は当該共済掛金期間の引受を再計算し直します。

共済価額に差額が生じた場合、共済価額、共済金額、共済掛金及び死廃共済金支払限度額を再計算し、共済掛金及び共済金の差額を徴収または返還します。

19 共済関係の解除

- (1) 家畜共済から収入保険制度に移行する場合
期末調整に準じて、共済価額、共済金額、共済掛金及び死廃共済金支払限度額を

再計算し、共済掛金及び共済金の差額を徴収または返還を行います。収入保険制度に移行する場合は組合に申し出てください。

(2) 養畜の業務の全部又は一部を止めた場合

死亡廃用共済では期末調整に準じて、共済価額、共済金額、共済掛金及び死廃共済金支払限度額を再計算し、共済掛金及び共済金の差額を徴収、または返還します。疾病傷害共済では未経過分の共済掛金を日割で計算した金額を返還します。

養畜の業務の全部又は一部を止めたことに伴い家畜共済の共済関係を解除するときは組合に申し出て下さい。

(3) 告知義務違反による共済関係の解除

加入申込みの際に、故意若しくは重大な過失により事実の告知をしなかったときや、不実の告知をしたときは、共済関係を解除することがあります。

(4) 重大事由による共済関係の解除

次に掲げる事由がある場合には、共済関係を解除します。

- ア 共済金の給付を行わせることを目的として損害を生じさせ、または生じさせようとしたこと。
- イ 共済金の給付の請求について詐欺を行い、又は行おうとしたこと。
- ウ 牛トレサ情報または組合員の帳簿その他飼養管理等の記録を利用して、家畜の飼養頭数を効率的に確認することにつき、組合員の協力を得られない場合。

20 損害防止の義務

加入者は、加入した家畜について通常の管理及び損害防止を行うとともに、事故が発生したときはその防止軽減に努めてください。これらの努めを怠ったときは、損害の額から防止及び軽減できたと認められる額を差し引くことがあります。また、必要な処置について組合から指示することがあることについてご留意願います。

詳しくは、組合担当者にお問い合わせください。

令和4年度家畜共済の評価基準及び評価額（評価資料）

令和4年度評価基準及び評価額(評価資料)を次のとおりとする。

なお、種豚以外の包括共済家畜区分については、雌雄の両方に適用する。

1 育成乳牛

(単位:千円)

月齢	価額
0	210
1	234
2	258
3	283
4	307
5	331
6	355
7	380
8	404
9	428
10	452
11	477
12	501
13	525
14	549
15	574
16	598
17	622
18	646
19	671
20	695
21	719
22	743
23	758

2 搾乳牛

(単位:千円)

月齢	価額
24	773
25	789
26	789
27	789
28	789
29	789
30	789
31	789
32	789
33	789
34	789
35	789
36	789
37	789
38	789
39	789
40	789
41	789
42	789
43	775
44	762
45	748
46	735
47	721
48	708
49	694
50	681
51	667
52	654
53	640
54	627
55	613
56	600
57	587
58	573
59	560
60	546
61	533
62	519
63	506

月齢	価額
64	492
65	479
66	465
67	452
68	438
69	425
70	411
71	398
72	385
73	371
74	358
75	344
76	331
77	317
78	304
79	290
80	277
81	263
82	250
83	236
84～	223

3 育成・肥育牛(繁殖用雌牛の育成牛を除く)

(1)黒毛和種
(単位:千円)

月齢	価額
0	176
1	234
2	293
3	351
4	409
5	468
6	526
7	585
8	643
9	702
10	760
11	791
12	822
13	853
14	885
15	916
16	947
17	978
18	1,009
19	1,040
20	1,071
21	1,102
22	1,134
23	1,165
24	1,196
25	1,227
26	1,258
27	1,289
28	1,320
29	1,351
30～	1,383

(2)褐毛和種
(単位:千円)

月齢	価額
0	172
1	226
2	281
3	335
4	390
5	444
6	498
7	553
8	607
9	662
10	716
11	726
12	736
13	746
14	755
15	765
16	775
17	785
18	795
19	805
20	814
21	824
22	834
23	844
24	854
25	864
26	873
27	883
28	893
29	903
30	913
31	922
32	932
33	942
34～	952

(3)交雑種
(単位:千円)

月齢	価額
0	147
1	183
2	220
3	256
4	293
5	330
6	366
7	386
8	407
9	427
10	447
11	467
12	487
13	507
14	528
15	548
16	568
17	588
18	608
19	628
20	648
21	669
22	689
23	709
24	729
25	749
26	769
27～	790

(4)乳用種
(単位:千円)

月齢	価額
0	106
1	123
2	141
3	159
4	177
5	194
6	212
7	230
8	248
9	256
10	264
11	272
12	281
13	289
14	297
15	305
16	313
17	322
18	330
19	338
20	346
21	354
22～	363

4 育成・肥育牛(繁殖用雌牛の育成牛に限る)

(1) 黒毛和種
(単位:千円)

月齢	価額
0	176
1	230
2	283
3	337
4	391
5	445
6	499
7	553
8	606
9	660
10	714
11	737
12	760
13	784
14	807
15	830
16	853
17	876
18	900
19	923
20	946
21	969
22	992
23	1,015

(2) 褐毛和種
(単位:千円)

月齢	価額
0	172
1	221
2	269
3	318
4	367
5	416
6	465
7	514
8	563
9	611
10	660
11	683
12	707
13	730
14	753
15	776
16	799
17	822
18	846
19	869
20	892
21	915
22	938
23	962

(3) 交雑種
(単位:千円)

月齢	価額
0	147
1	167
2	188
3	209
4	229
5	250
6	271
7	291
8	312
9	333
10	356
11	379
12	402
13	425
14	448
15	472
16	495
17	518
18	541
19	564
20	588
21	611
22	634
23	657

5 繁殖用雌牛

(1) 黒毛和種

月齡	価額	月齡	価額
24	1,039	64	947
25	1,062	65	935
26	1,062	66	923
27	1,062	67	912
28	1,062	68	900
29	1,062	69	889
30	1,062	70	877
31	1,062	71	866
32	1,062	72	854
33	1,062	73	843
34	1,062	74	831
35	1,062	75	820
36	1,062	76	808
37	1,062	77	797
38	1,062	78	785
39	1,062	79	774
40	1,062	80	762
41	1,062	81	750
42	1,062	82	739
43	1,062	83	727
44	1,062	84	716
45	1,062	85	704
46	1,062	86	693
47	1,062	87	681
48	1,062	88	670
49	1,062	89	658
50	1,062	90	647
51	1,062	91	635
52	1,062	92	624
53	1,062	93	612
54	1,062	94	601
55	1,050	95	589
56	1,039	96	578
57	1,027	97	566
58	1,016	98	554
59	1,004	99	543
60	993	100	531
61	981	101	520
62	970	102	508
63	958	103	497

(単位:千円)

月齡	価額
104	485
105	474
106	462
107	451
108~	439

(2) 褐毛和種

月齡	価額	月齡	価額
24	985	64	886
25	1,008	65	874
26	1,008	66	862
27	1,008	67	850
28	1,008	68	838
29	1,008	69	826
30	1,008	70	814
31	1,008	71	801
32	1,008	72	789
33	1,008	73	777
34	1,008	74	765
35	1,008	75	753
36	1,008	76	741
37	1,008	77	728
38	1,008	78	716
39	1,008	79	704
40	1,008	80	692
41	1,008	81	680
42	1,008	82	668
43	1,008	83	656
44	1,008	84	643
45	1,008	85	631
46	1,008	86	619
47	1,008	87	607
48	1,008	88	595
49	1,008	89	583
50	1,008	90	571
51	1,008	91	558
52	1,008	92	546
53	1,008	93	534
54	1,008	94	522
55	996	95	510
56	984	96	498
57	971	97	485
58	959	98	473
59	947	99	461
60	935	100	449
61	923	101	437
62	911	102	425
63	899	103	413

(単位:千円)

月齡	価額
104	400
105	388
106	376
107	364
108~	352

(3)交雑種

(単位:千円)

月齡	価額
24	680
25	703
26	703
27	703
28	703
29	703
30	703
31	703
32	703
33	703
34	703
35	703
36	703
37	703
38	703
39	703
40	703
41	703
42	703
43	703
44	703
45	703
46	703
47	703
48	703
49	703
50	703
51	703
52	703
53	703
54	703
55	697
56	690
57	684
58	677
59	671
60	664
61	658
62	651
63	645

月齡	価額
64	638
65	632
66	625
67	619
68	612
69	606
70	599
71	593
72	586
73	580
74	573
75	567
76	560
77	554
78	547
79	541
80	534
81	528
82	521
83	515
84	508
85	502
86	495
87	489
88	482
89	476
90	469
91	462
92	456
93	449
94	443
95	436
96	430
97	423
98	417
99	410
100	404
101	397
102	391
103	384

月齡	価額
104	378
105	371
106	365
107	358
108~	352

6 育成・肥育馬

(1) 農用馬

月齡	価額
0	655
1	709
2	763
3	818
4	872
5	926
6	981
7	1,035
8	1,089
9	1,144
10	1,198
11	1,253
12	1,307
13	1,361
14	1,382
15	1,403
16	1,424
17	1,444
18	1,465
19	1,486
20	1,507
21	1,528
22	1,548
23	1,569
24	1,590
25	1,611
26	1,632
27	1,652
28	1,673
29	1,694
30	1,715
31	1,735
32	1,756
33	1,777
34	1,798
35	1,819

(単位:千円)

月齡	価額
36	1,839
37	1,839
38	1,839
39	1,839
40	1,839
41	1,839
42	1,839
43	1,839
44	1,839
45	1,839
46	1,839
47	1,839
48	1,839
49	1,839
50	1,839
51	1,839
52	1,839
53	1,839
54	1,839
55	1,839
56	1,839
57	1,839
58	1,839
59	1,839
60~	1,839

(2) 中格馬

(単位:千円)

月齡	価額
0	327
1	354
2	381
3	409
4	436
5	463
6	490
7	517
8	544
9	572
10	599
11	626
12	653
13	680
14	691
15	701
16	712
17	722
18	732
19	743
20	753
21	764
22	774
23	784
24	795
25	805
26	816
27	826
28	836
29	847
30	857
31	867
32	878
33	888
34	899
35	909

月齡	価額
36	919
37	919
38	919
39	919
40	919
41	919
42	919
43	919
44	919
45	919
46	919
47	919
48	919
49	919
50	919
51	919
52	919
53	919
54	919
55	919
56	919
57	919
58	919
59	919
60~	919

(3)小格馬

(単位:千円)

月齡	価額
0	131
1	141
2	152
3	163
4	174
5	185
6	196
7	207
8	217
9	228
10	239
11	250
12	261
13	272
14	276
15	280
16	284
17	288
18	293
19	297
20	301
21	305
22	309
23	313
24	318
25	322
26	326
27	330
28	334
29	338
30	343
31	347
32	351
33	355
34	359
35	363

月齡	価額
36	367
37	367
38	367
39	367
40	367
41	367
42	367
43	367
44	367
45	367
46	367
47	367
48	367
49	367
50	367
51	367
52	367
53	367
54	367
55	367
56	367
57	367
58	367
59	367
60~	367

7 育成・肥育馬、繁殖用雌馬

(1) 農用馬

(単位:千円)

月齡	価額	月齡	価額	月齡	価額	月齡	価額
36	1839	76	1839	116	1543	156	1087
37	1839	77	1839	117	1532	157	1076
38	1839	78	1839	118	1520	158	1064
39	1839	79	1839	119	1509	159	1053
40	1839	80	1839	120	1498	160	1042
41	1839	81	1839	121	1486	161	1030
42	1839	82	1839	122	1475	162	1019
43	1839	83	1839	123	1463	163	1008
44	1839	84	1839	124	1452	164	996
45	1839	85	1839	125	1441	165	985
46	1839	86	1839	126	1429	166	973
47	1839	87	1839	127	1418	167	962
48	1839	88	1839	128	1406	168	951
49	1839	89	1839	129	1395	169	939
50	1839	90	1839	130	1384	170	928
51	1839	91	1828	131	1372	171	916
52	1839	92	1817	132	1361	172	905
53	1839	93	1805	133	1349	173	894
54	1839	94	1794	134	1338	174	882
55	1839	95	1782	135	1327	175	871
56	1839	96	1771	136	1315	176	859
57	1839	97	1760	137	1304	177	848
58	1839	98	1748	138	1292	178	837
59	1839	99	1737	139	1281	179	825
60	1839	100	1726	140	1270	180~	814
61	1839	101	1714	141	1258		
62	1839	102	1703	142	1247		
63	1839	103	1691	143	1235		
64	1839	104	1680	144	1224		
65	1839	105	1669	145	1213		
66	1839	106	1657	146	1201		
67	1839	107	1646	147	1190		
68	1839	108	1634	148	1178		
69	1839	109	1623	149	1167		
70	1839	110	1612	150	1156		
71	1839	111	1600	151	1144		
72	1839	112	1589	152	1133		
73	1839	113	1577	153	1121		
74	1839	114	1566	154	1110		
75	1839	115	1555	155	1099		

(2) 中格馬

(単位:千円)

月齡	価額
36	919
37	919
38	919
39	919
40	919
41	919
42	919
43	919
44	919
45	919
46	919
47	919
48	919
49	919
50	919
51	919
52	919
53	919
54	919
55	919
56	919
57	919
58	919
59	919
60	919
61	919
62	919
63	919
64	919
65	919
66	919
67	919
68	919
69	919
70	919
71	919
72	919
73	919
74	919
75	919

月齡	価額
76	919
77	919
78	919
79	919
80	919
81	919
82	919
83	919
84	919
85	919
86	919
87	919
88	919
89	919
90	919
91	914
92	908
93	902
94	897
95	891
96	885
97	880
98	874
99	868
100	863
101	857
102	851
103	845
104	840
105	834
106	828
107	823
108	817
109	811
110	806
111	800
112	794
113	788
114	783
115	777

月齡	価額
116	771
117	766
118	760
119	754
120	749
121	743
122	737
123	731
124	726
125	720
126	714
127	709
128	703
129	697
130	692
131	686
132	680
133	674
134	669
135	663
136	657
137	652
138	646
139	640
140	635
141	629
142	623
143	617
144	612
145	606
146	600
147	595
148	589
149	583
150	578
151	572
152	566
153	560
154	555
155	549

月齡	価額
156	543
157	538
158	532
159	526
160	521
161	515
162	509
163	504
164	498
165	492
166	486
167	481
168	475
169	469
170	464
171	458
172	452
173	447
174	441
175	435
176	429
177	424
178	418
179	412
180~	407

(3)小格馬

(単位:千円)

月齡	価額
36	367
37	367
38	367
39	367
40	367
41	367
42	367
43	367
44	367
45	367
46	367
47	367
48	367
49	367
50	367
51	367
52	367
53	367
54	367
55	367
56	367
57	367
58	367
59	367
60	367
61	367
62	367
63	367
64	367
65	367
66	367
67	367
68	367
69	367
70	367
71	367
72	367
73	367
74	367
75	367

月齡	価額
76	367
77	367
78	367
79	367
80	367
81	367
82	367
83	367
84	367
85	367
86	367
87	367
88	367
89	367
90	367
91	365
92	363
93	361
94	358
95	356
96	354
97	352
98	349
99	347
100	345
101	342
102	340
103	338
104	336
105	333
106	331
107	329
108	326
109	324
110	322
111	320
112	317
113	315
114	313
115	311

月齡	価額
116	308
117	306
118	304
119	301
120	299
121	297
122	295
123	292
124	290
125	288
126	285
127	283
128	281
129	279
130	276
131	274
132	272
133	269
134	267
135	265
136	263
137	260
138	258
139	256
140	254
141	251
142	249
143	247
144	244
145	242
146	240
147	238
148	235
149	233
150	231
151	228
152	226
153	224
154	222
155	219

月齡	価額
156	217
157	215
158	213
159	210
160	208
161	206
162	203
163	201
164	199
165	197
166	194
167	192
168	190
169	187
170	185
171	183
172	181
173	178
174	176
175	174
176	171
177	169
178	167
179	165
180~	162

8 種豚

(1)雄

(単位:千円)

月齡	価額
0	-
1	-
2	20
3	53
4	86
5	118
6	151
7	155
8	159
9	159
10	159
11	159
12	159
13	159
14	159
15	159
16	159
17	159
18	159
19	159
20	159
21	159
22	159
23	159
24	159
25	159
26	159
27	159
28	159
29	159
30	159
31	159
32	159
33	150
34	141
35	132
36	123
37	115
38	106
39	97
40	88
41	79
42	70
43	61
44	52
45	43
46	34
47~	25

(2)雌

(単位:千円)

月齡	価額
0	-
1	-
2	20
3	36
4	52
5	67
6	83
7	87
8	91
9	95
10	99
11	103
12	107
13	107
14	107
15	107
16	107
17	107
18	107
19	107
20	107
21	107
22	107
23	107
24	107
25	107
26	107
27	107
28	98
29	90
30	82
31	74
32	66
33	58
34	50
35	42
36	34
37~	25

9 肉用種種雄牛

(單位:千円)

月齡	価額
0	176
1	238
2	300
3	362
4	425
5	487
6	549
7	611
8	674
9	736
10	798
11	821
12	844
13	867
14	891
15	914
16	937
17	960
18	983
19	983
20	983
21	983
22	983
23	983
24	983
25	983
26	983
27	983
28	983
29	983
30	983
31	983
32	983
33	983
34	983
35	983
36	983
37	983
38	983
39	983

月齡	価額
40	983
41	983
42	983
43	983
44	983
45	983
46	983
47	983
48	983
49	983
50	983
51	983
52	983
53	983
54	983
55	983
56	983
57	971
58	958
59	945
60	932
61	919
62	906
63	894
64	881
65	868
66	855
67	842
68	829
69	816
70	804
71	791
72	778
73	765
74	752
75	739
76	727
77	714
78	701
79	688

月齡	価額
80	675
81	662
82	650
83	637
84	624
85	611
86	598
87	585
88	572
89	560
90	547
91	534
92	521
93	508
94	495
95	483
96	470
97	457
98	444
99	431
100	418
101	406
102	393
103	380
104	367
105	354
106	341
107~	329

10 共済金の基礎となる胎児の価額

(単位:千円)

畜種	価額
乳用種初生牛価額	106
交雑種初生牛価額	147
褐毛和種初生牛価額	172
黒毛和種初生牛価額	176

11 死亡した胎児の共済価額の基礎となる価額

1) 育成乳牛

(1) 乳用種

(単位:千円)

月齢	価額
0	106
1	123
2	141
3	159
4	177
5	194
6	212
7	230
8	248
9	256
10	264
11	272

2) 育成・肥育牛

(1) 黒毛和種

(単位:千円)

月齢	価額
0	176
1	234
2	293
3	351
4	409
5	468
6	526
7	585
8	643
9	702
10	760
11	791

(2) 褐毛和種

(単位:千円)

月齢	価額
0	172
1	226
2	281
3	335
4	390
5	444
6	498
7	553
8	607
9	662
10	716
11	726

(3) 交雑種

(単位:千円)

月齢	価額
0	147
1	183
2	220
3	256
4	293
5	330
6	366
7	386
8	407
9	427
10	447
11	467

12 肉豚の評価額

(単位:千円)

価額
13

1.3 疾病傷害共済に適用する評価基準について

家畜区分	用途	品種又は対象家畜等	適用する評価基準
乳用牛			育成乳牛 搾乳牛
肉用牛	肥育	黒毛和種	育成・肥育牛（繁殖用雌牛の育成牛を除く）の黒毛和種
		褐毛和種	育成・肥育牛（繁殖用雌牛の育成牛を除く）の褐毛和種
		交雑種	育成・肥育牛（繁殖用雌牛の育成牛を除く）の交雑種
		ホルスタイン	育成・肥育牛（繁殖用雌牛の育成牛を除く）のホルスタイン
	繁殖	黒毛和種	繁殖用雌牛の黒毛和種
		褐毛和種	繁殖用雌牛の褐毛和種
交雑種		繁殖用雌牛の交雑種	
一般馬	肥育	育成肥育馬	育成・肥育馬（繁殖用雌馬の育成馬を除く）
	繁殖	繁殖用雌馬	繁殖用雌馬
種豚		雄	種豚（雄）
		雌	種豚（雌）
肉用種種雄牛		肉用種種雄牛	肉用種種雄牛

(別表)

その他の品種等に係る評価基準の適用について

1 その他の品種に係る評価基準の適用について

共済目的等		品種	性別	適用する評価基準
家畜共済	育成乳牛 搾乳牛	ジャージー種 その他乳用種	♀	24月齢未満は育成乳牛 24月齢以上は搾乳牛
	育成・肥育牛 (繁殖用雌牛 育成牛を除く)	黒毛和種×褐毛和種	♂♀	育成・肥育牛(繁殖用雌牛育成牛を除く) 褐毛和種
		日本短角種 和牛間交雑種 肉専用種	♂♀	育成・肥育牛(繁殖用雌牛育成牛を除く) 褐毛和種
		ホルスタイン種 ジャージー種 その他乳用種 (肥育のみ目的、搾乳しない)	♀	育成・肥育牛 乳用種
育成・肥育牛 (繁殖用雌牛 育成牛に限る) 繁殖用雌牛	日本短角種 肉専用種 黒毛和種×褐毛和種	♀	24月齢未満は育成・肥育牛(繁殖用雌牛の育成牛に限る)の褐毛和種 24月齢以上は繁殖用雌牛の褐毛和種	
胎児・初生牛	乳用種×肉用種 交雑種×肉用種		♂♀	交雑種初生牛
	肉用種間の交雑種及び黒毛和種以外の肉用種		♂♀	褐毛和種初生牛

2 飼養の目的が変更となった場合の適用について

元の飼養目的	適用する共済目的	適用する評価基準
育成乳牛及び搾乳牛よりした場合	育成・肥育牛	月齢に関わらず搾乳牛の評価基準の終点価額。
繁殖用雌牛よりした場合		繁殖用雌牛 黒毛和種、繁殖用雌牛 褐毛和種、繁殖用雌牛 交雑種において、月齢に関わらずそれぞれの評価基準の終点価額。

3 搾乳又は繁殖に供した個体を肥育用に用途変更した場合の共済金の基礎に適用する評価区分

品種	適用する共済目的	適用する価額
乳用種	育成・肥育牛	搾乳牛の終点価額
黒毛和種		繁殖用雌牛(黒毛和種)の終点価額
褐毛和種		繁殖用雌牛(褐毛和種)の終点価額
交雑種		繁殖用雌牛(交雑種)の終点価額